

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	浜松歯科衛生士専門学校
設置者名	一般社団法人浜松市歯科医師会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の授業時数又は単位数	省令で定める授業時数又は基準単位数	配置困難
専門課程	歯科衛生士科		109単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 <a href="http://hdhsmirai.com/">http://hdhsmirai.com/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者(公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等)は、この様式を用いること。

学校名	浜松歯科衛生士専門学校
設置者名	一般社団法人浜松市歯科医師会

### 1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営委員会
役割	<p>学校運営委員会は次の事項を審議する。</p> <p>(1) 事業計画の決定</p> <p>(2) 事業報告の決定</p> <p>(3) 運営に関する事項</p> <p>(4) 予算及び決算に関する事項</p> <p>(5) 学則及び学校の諸規定についての制定、改廃に関する事項</p> <p>(6) 学生の定数ならびに募集に関する事項</p> <p>(7) 施設の改廃に関する事項</p> <p>(8) その他管理運営に関する重要な事項</p>

### 2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考(学校と関連する経歴等)
現 藤井歯科クリニック 院長	平成31年4月～ 令和3年3月	外部人材 元校長、元歯科医師会副会長、元非常勤講師、 現臨床実習施設長
現 松下歯科医院 院長	平成31年4月～ 令和3年3月	外部人材 現歯科医師会監事、元歯科医師会副会長
(備考)		

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	浜松歯科衛生士専門学校
設置者名	一般社団法人浜松市歯科医師会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<u>授業計画(シラバス)の作成過程</u>	
8～9月	①次年度の年間予定に学校行事、休日の組み入れ。 ②事前に講師確認の、講義可能日と時間帯を考慮し、日程の組み入れ。 ※内容的な前後関係も考慮。同一講師が他の学年と重複しないよう配慮。
10～11月	主要3科の授業・実習を組み入れ。 ※継続的な実習や学年間で教室が重ならない配慮。次の実習までの日数も考慮し計画。
12月	①パソコンの時間割・シラバス作成ソフトに入力。 ②『講義・実習のねらい』『使用教本』『参考図書』『評価方法・基準』『履修上の注意』『使用機材』は前年度記載事項はこの時点では修正せず。
	①全講師に郵送し、次年度シラバスの内容、日程を確認。 ②回答に従い修正。日程調整が必要な場合は変更。 (必要により別の講師に日程の移動を依頼)
1月	シラバス入力後、出力し、時間割表と照合(再確認)
2月	印刷業者に発注。(次年度の専任教員担当を発表後、主要3科の担当者を決定。業務分掌と業務量考慮)
3月	シラバス完成→講師に郵送。
4月	学生配布。
<u>授業計画書の作成・公表時期</u>	
毎年4月にその年度用のシラバスを作成し、全学生に配布。	
①シラバスには、年間行事計画、1年生から3年生までの講義・実習計画表(科目ごとに時間数、単位、講師名と所属が記載)、学科試験受験の流れ、卒業試験から国家試験までの流れ、指導案用紙について(学内掲示用)、レポートの提出について記載。	
②1年生から3年生までの科目の内容および講義・実習計画。	
・内容:科目ごとに、講義・実習のねらい、使用教本、参考図書、評価方法・基準、履修上の注意、使用教材が記載。	
・講義・実習計画:講義・実習計画には、講義の日付、時限、内容、担当者の方が記載。	
※実務経験のある教員による授業科目は、2019年度のシラバスに別紙A3サイズ of 用紙にて一覧表を作成し公表。	
※2020年度のシラバスより冊子に記載欄を設置し掲載。	
※詳細はシラバス冊子をご参照ください。	
授業計画書の公表方法	毎年4月に1年生から3年生までの全学生に配布。 ホームページにより公表 <a href="http://hdhsmirai.com/">http://hdhsmirai.com/</a>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各学生の学修成果に基づき、あらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に単位又は履修認定している。

1. 各授業科目の学修成果の評価方法については、シラバスの各科目記載内容の項目に、評価方法・基準欄を設け記載・公表。
2. 学生便覧のⅢ. 教育の欄に、学生心得、学年・単位制、Semester制、授業、学習等、出席管理、出欠席、皆勤、遅刻、忌引き、病気による出席停止について記載し周知。(次ページ資料参照。学生便覧 16～18 ページ)
3. 試験、進級・卒業についても学生便覧(19・20 ページ)に記載し周知。

※詳細はシラバス及び学生便覧冊子を参照。

#### 様々な学習・学生生活支援

##### 入学前課題

入学前、入学後の講義理解のために必要な数学、化学、生物の基礎的な課題を3回行い、学校に提出。

##### 入学課題確認テスト

入学後に、入学前課題の内容についての確認テストを行い基礎学力の確認を行い、合格点を満たせなかった学生は放課後勉強を行い再テストを実施。

##### 放課後勉強会・実習練習

1年生から3年生まで、日々、学生が自主的に行うもので、申し出により担任・副担任等が指導。

##### 国家試験対策

2年生、3年生時に計画的に行われる国家試験対策。グループ学習を中心に、参考書の読み込み、国家試験の過去問題の解き直し、本校独自の領域別の小テストとその解き直し、模擬試験の解き直し、業者を招聘しての対策講座、学習成績の低い学生への放課後勉強会など実施。学生に応じた学習の対策を実施。

##### 担任・副担任制

平成31年4月より担任・副担任制度を採用し、1クラスを2名の教員で担当。より学生に寄り添った教育とサポートを行うように改善。

##### チューター制度

担任・副担任のほか、浜松市歯科医師会会員の学校部に所属する歯科医師によるチューター制度を実施。学習方法、学生生活など、1ヶ月に1回程度のチューター面談を行い、学生をサポートするとともに、学生本人の意思を尊重し、場合により担任・副担任や各担当と連携し、学校全体として学生を支援。

##### カウンセラー制度

2週間に1日のペースでカウンセリングを実施。家庭や友人関係など様々な相談内容や、心身の問題などに対応するため、カウンセリングを実施。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。  
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価は学生便覧(17～20 ページ)の、「学年・単位制、SHR,授業、掲示連絡、学習等」、「出席管理、出欠席、皆勤、遅刻、忌引き、病気による出席停止」、「試験」、「進級・卒業に関する内規」に記載し周知・公表。

各科目の総合評価になる成績評価点のその学年の合計点数により順位付け。

※学生便覧は年度ごとに新規作成、毎年全学生に配布し周知。

## 進級・卒業に関する内規

### 学業成績(評定)

1. 学業成績(評定)は、科目修了試験の結果に、臨時試験の結果、出席状況、授業態度等を加味して担当講師が決定する。
2. 基礎実習、臨床臨地実習は、試験、レポート、提出物、演習・実習態度、出席状況など多面的に評価して評定する。
3. 学業成績(評定)は満点を100点とし以下の通りとする。

点数区分	評定
90～100点	特A
80～89点	A
70～79点	B
60～69点	C
59点以下	D

※各科目の評定は、学業成績として記録・保管される。

### 進級・留年判定 単位認定

学業成績(評定)による単位認定と単位未認定の区分は以下の通りとする。

認定区分	学業成績(評定)
単位認定とする学業成績(評定)	特A、A、B、C
単位未認定とする学業成績(評定)	D

1. 単位未認定の科目を1科目でも有する場合は留年の対象者となる。
2. 進級・留年の決定は、教務委員会に諮り校長が決定する。

### 留年

留年の場合は、翌年度も同じ学年の初め4月より再履修し、不合格となった科目は確実に履修することはもちろん、その他の科目についても全て履修するものとする。

※再び履修した科目は、上位の成績を優先し学業成績の書き換えを行う。

※知識・技能のスキルアップと規則的な生活習慣の遂行等自己研鑽を継続するものとする。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

ホームページにより公表 <http://hdhsmirai.com/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定は下記のように学生便覧(20 ページ)の「進級・卒業に関する内規」に記載し周知・公表。

卒業試験

- 受験資格 : ①学科試験が全て合格していること。  
②所定の臨床臨地実習を終えていること。  
③授業料等学納金を全納していること。

卒業試験は、歯科衛生士国家試験に準じて行い、6割以上の得点を以って合格とする。

※卒業試験に合格しない者は、歯科衛生士国家試験に受験できない。

卒業認定

卒業の認定は、学業成績・出席状況について評定のうえ教務委員会の議を経て校長が行う。(学則第 17 条より)

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

ホームページにより公表 <http://hdhsmirai.com/>

## 学生心得、HR、学生連絡網

### 学生心得

◆ 学生は「学生心得」をよく理解し、普段よりこれを厳守しなければならない。  
学生は、本校の教育目標の達成に努力し、授業を通しての学問や技術の修得のみならず、医療従事者として豊かな人間性を養い、自主的な学生生活を送るように努めること。

#### 1. 服装・頭髪等

- ① 服装については、常に清潔で健康的であり学生の本分の遂行に支障をきたさないものであるように心がけ、医療人を志す本校学生の品位と誇りを保つにふさわしいものであるよう努めるものとする。(華美であつたり、またはラフ過ぎないよう心がける。)
- ② 頭髪の色は基本的には手を加えない。爪は短く切り(伸ばさない)、マニキュアを塗らないこととし、日ごろからの清潔なイメージづくりと、歯科衛生士としての好感や信頼を得るものとする。

※頭髪は本校指定基準の色とする。

JHCA レベルスケール・ナチュラル カラーコード No.6 以下の黒色

- ③ 服装・頭髪等については、当該指導教員の指示に従うとともに、清潔な着衣によるものとし、身だしなみについても留意しなければならない。

#### 2. 礼儀・態度

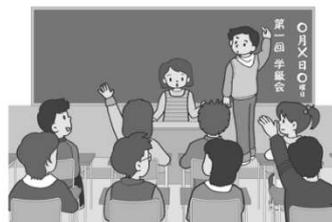
ことばは人間関係をつくる大きな道具の一つである。自らすすんで挨拶をするように心がける。

講師・教職員その他外来者等には礼を尽くし、正しく対応するよう努めねばならない。

※友人との会話などで使う『ため口』ではなく、敬語で話す習慣をつけること。

### HR (ホームルーム)

学生生活の運営を円滑にし、学生の自主的活動を活発にするためにHR(ホームルーム)を組織し、HR委員その他委員を置く。



### 学生連絡網

休日、休業期間中など、必要に応じて学生連絡網で連絡することがあります。

1. 緊急の場合の連絡網は別表による。家族にも周知しておくこと。
2. 次の順番の者に連絡が取れない場合は、その次の者に連絡し、その者には後刻連絡し、途中で連絡が止まらないように処置すること。



## 学年・単位制、セメスター制、SHR、授業、掲示連絡、学習等

### 学年・単位制

本校では、学年制と単位制を併用しています。  
各学年ごとに所定の授業科目を履修し単位を修得します。卒業後に更に学習・研究等を志望し他学へ入学・編入学する場合には、科目により単位認定の申請をすることもできます。

### セメスター制

本校はセメスター制により、各期を次のように区分しています。

年次	期	春セメスター 4月1日～9月30日	秋セメスター 10月1日～3月31日
1年次		Iセメスター	IIセメスター
2年次		IIIセメスター	IVセメスター
3年次		Vセメスター	VIセメスター

### SHR

毎朝、8時55分より、SHR（ショートホームルーム）を行う。

### HR日誌

日直当番は、毎日HR日誌を記入し、その日の状況を記録する。

### 授業

授業開始.....学生は、授業の開始5分前に入室し、静かに講師を迎える。

放課後.....4時限終了後、清掃・実習片付け・勉強会など、自分の役割や課せられたことには積極的に取り組むこと。

SHR	8:55 ~ 9:00
1時限	9:00 ~ 10:30
2時限	10:40 ~ 12:10
昼休み	
3時限	13:10 ~ 14:40
4時限	14:50 ~ 16:20

### 学習等

講義心得.....講義は、講話・教科書・板書・スライド・ビデオ、あるいは演示など多くの方法が用いられるので、よくノートを整理し講師の強調点や繰り返しに注意して聞く事が大切である。

復習等.....講義は、それぞれの科目の内容が相互に関係のあることが多いので注意し、教科書等に照らして復習・整理し構造的に覚えるとよい。

レポート.....レポートの提出を求められた時は、その題意をよく理解して、ポイントをおさえてまとめるようにする。  
※レポートの形式は、シラバスを参照のこと。

質問等.....講義は、ほとんど医学界の専門家が行うため、用語や表現など解り難い事があるが、そのままにせず質問などして自分のものにする事。

### 掲示連絡

連絡は、授業の予定変更及び準備物、休講、試験、行事、学生生活などがある。

原則として連絡は掲示で行うので、毎日、機会あるごとに掲示を見る習慣をつけ、留意すること。



<b>試験</b>	
<b>試験</b>	試験については、学則第 10 条から第 16 条に示されているが細部について次のように定める。
<b>受験資格</b>	受験資格：①各科目ごとに授業時数の 2/3 以上出席していること。 ②授業料等学納金を全納していること。
<b>注意！ 無効事項</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><ol style="list-style-type: none"><li>1. 試験に 20 分以上遅刻した者及び開始 30 分以内の退席者は、その科目について無効とする。</li><li>2. 受験中に不正な行為をした者は、そのセメスターの全ての科目の受験資格を失い、そのセメスターに受験した全ての科目試験を無効とする。</li><li>3. 解答やレポートは、必ず 番号・氏名を記入すること。無記名で提出すると無効になる場合があるので注意すること。</li><li>4. レポートの提出を求められたときは提出期限を遵守すること。期限を過ぎたものは、原則としてその科目は無効とする。</li></ol></div>
<b>試験結果</b>	各試験の成績は、6 割以上を得た者を合格とする。(学則第 14 条)
<b>追・再試験</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 試験に欠席した理由が、やむを得ないと認められる者は、願い出により追試験を受けることができる。(学則第 16 条)</li><li>2. 試験の成績が 6 割に達しない者は、再試験を受けることができる。その場合は再試験願を提出し、校長の許可を受けなければならない。(学則第 15 条)  ※再試験の成績が 6 割に達しない者は、再々試験を受けることができる。手続きは再試験同様とし、再々試験願を提出するものとする。</li><li>3. 追試験・再試験（再々試験含む）とも 3,000 円を徴収する。</li></ol> <p>※ → P. 30 各種の届出・願出</p>

## 進級・卒業に関する内規

### 学業成績 (評定)

1. 学業成績(評定)は、科目修了試験の結果に、臨時試験の結果、出席状況、授業態度等を加味して担当講師が決定する。
2. 基礎実習、臨床臨地実習は、試験、レポート、提出物、演習・実習態度、出席状況など多面的に評価して評定する。
3. 学業成績(評定)は満点を100点とし以下の通りとする。

点数区分	評定
90~100点	特A
80~89点	A
70~79点	B
60~69点	C
59点以下	D

※各科目の評定は、学業成績として記録・保管される。

### 単位認定

学業成績(評定)による単位認定と単位未認定の区分は以下の通りとする。

認定区分	学業成績(評定)
単位認定とする学業成績(評定)	特A、A、B、C
単位未認定とする学業成績(評定)	D

### 進級・留年 判定

1. 単位未認定の科目を1科目でも有する場合は留年の対象者となる。
2. 進級・留年の決定は、教務委員会に諮り校長が決定する。

### 留年

留年の場合は、翌年度も同じ学年の初め4月より再履修し、不合格となった科目は確実に履修することはもちろん、その他の科目についても全て履修するものとする。

※再び履修した科目は、上位の成績を優先し学業成績の書き換えを行う。

※知識・技能のスキルアップと規則的な生活習慣の遂行等自己研鑽を継続するものとする。

### 卒業試験

- 受験資格：①学科試験が全て合格していること。  
②所定の臨床臨地実習を終えていること。  
③授業料等学納金を全納していること。

卒業試験は、歯科衛生士国家試験に準じて行い、6割以上の得点を以って合格とする。

※卒業試験に合格しない者は、歯科衛生士国家試験に受験できない。

### 卒業認定

卒業の認定は、学業成績・出席状況について評定のうえ教務委員会の議を経て校長が行う。(学則第17条より)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表(専門学校)】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	浜松歯科衛生士専門学校
設置者名	一般社団法人浜松市歯科医師会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにより公開 <a href="https://hamashi.com/about/">https://hamashi.com/about/</a>
正味財産増減計算書 (収支計算書又は損益計算書)	ホームページにより公開 <a href="https://hamashi.com/about/">https://hamashi.com/about/</a>
事業報告書	ホームページにより公開 <a href="https://hamashi.com/about/">https://hamashi.com/about/</a>
監事による監査報告(書)	一般社団法人浜松市歯科医師会事務局に、閲覧希望の旨連絡の上、事務局にて閲覧可能。 電話 : 053-453-8847 担当 : 事務局長 遠藤 まで

平成 30 年度 貸借対照表総括表、附属明細書、正味財産増減計算書総括表、 公  
益目的支出計画事業実施の状況、監査報告

平成30年度 貸借対照表 総括表

平成31年3月31日現在

科 目	本 会 会 計	歯 科 衛 生 士 専 門 学 校	合 計
<b>1 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現 金 預 金	132,165,345	46,935,037	179,100,382
未 収 金	10,837,556	2,504,204	13,341,760
前 払 金	52,920	-	52,920
立 替 金	1,165,170	-	1,165,170
貯 蔵 品	108,877	-	108,877
流動資産合計	144,329,868	49,439,241	193,769,109
2. 固定資産			
(1)特定資産			
役員退職慰労引当預金	7,455,000	-	7,455,000
職員退職引当預金	22,212,900	23,679,216	45,892,116
建物建設積立引当預金	54,555,000	-	54,555,000
100周年記念事業積立引当預金	1,500,000	-	1,500,000
建 物	17,430,000	-	17,430,000
減 価 償 却 累 計 額	▲ 5,634,320	-	▲ 5,634,320
建物償却引当預金	-	137,676,707	137,676,707
機器償却引当預金	-	29,426,164	29,426,164
教育体制準備基金預金	-	304,105	304,105
学校行事準備金預金	-	3,028,255	3,028,255
特定資産合計	97,518,580	194,114,447	291,633,027
(2)その他固定資産			
建 物	282,523,764	13,830,737	296,354,501
備 品	8,478,449	134,179,626	142,658,075
図 書	-	5,637,613	5,637,613
電 話 加 入 権	247,934	167,008	414,942
投 資 有 価 証 券	10,000,000	-	10,000,000
出 資 金	-	1,188,000	1,188,000
減 価 償 却 累 計 額	▲ 187,646,395	▲ 118,779,901	▲ 306,426,296
そ の 他 固 定 資 産 合 計	113,603,752	36,223,083	149,826,835
固定資産合計	211,122,332	230,337,530	441,459,862
資産合計	355,452,200	279,776,771	635,228,971
<b>2 負債の部</b>			
1. 流動負債			
前 受 金	887,500	7,800,000	8,687,500
未 払 金	8,860,324	-	8,860,324
預 り 金	844,999	123,700	968,699
賞 与 引 当 金	909,100	1,701,800	2,610,900
流動負債合計	11,501,923	9,625,500	21,127,423
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	7,455,000	-	7,455,000
職員退職給付引当金	22,212,900	23,680,080	45,892,980
固定負債合計	29,667,900	23,680,080	53,347,980
負債合計	41,169,823	33,305,580	74,475,403
<b>3 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産（地方公共団体補助金）	11,795,680	0	11,795,680
2. 一般正味財産	302,486,697	246,471,191	548,957,888
正味財産合計	314,282,377	246,471,191	560,753,568
負債及び正味財産合計	355,452,200	279,776,771	635,228,971

## 附属明細書

### 1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特 定 資 産	役員退職慰勞引当預金	3,195,000	4,260,000	-	7,455,000
	職員退職引当預金	45,659,352	4,860,068	4,627,304	45,892,116
	建物建設積立引当預金	45,087,500	9,467,500	-	54,555,000
	100周年記念事業積立引当預金	1,000,000	500,000	-	1,500,000
	建 物	17,430,000	-	-	17,430,000
	減価償却累計額	▲ 4,930,030	▲ 704,290	-	▲ 5,634,320
	建物償却引当預金	117,671,158	20,005,549	-	137,676,707
	機器償却引当預金	23,740,581	5,685,583	-	29,426,164
	教育体制準備基金預金	304,103	2	-	304,105
	学校行事準備金預金	3,027,998	257	-	3,028,255
	特定資産合計	252,185,662	44,074,669	4,627,304	291,633,027
そ の 他 固 定 資 産	建 物	296,354,501	-	-	296,354,501
	備 品	143,370,389	171,720	884,034	142,658,075
	図 書	5,637,613	-	-	5,637,613
	電話加入権	414,942	-	-	414,942
	投資有価証券	10,000,000	-	-	10,000,000
	出 資 金	1,164,000	24,000	-	1,188,000
	減価償却累計額	▲ 287,453,603	▲ 19,856,719	▲ 884,026	▲ 306,426,296
		その他固定資産合計	169,487,842	▲ 19,660,999	8

### 2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	そ の 他	
賞与引当金	2,421,150	2,610,900	2,421,150	-	2,610,900
役員退職慰勞引当金	3,195,000	4,260,000	-	-	7,455,000
職員退職給付引当金	45,661,080	4,858,340	4,626,440	-	45,892,980

## 平成30年度 正味財産増減計算書 総括表

平成30年4月1日～平成31年3月31日

科 目	実施事業等会計 公益事業1 継続事業1・2	その他会計		法人会計		内部取引控除	合 計
		1衛生士学校	2事業所健診	本 会 会 計	衛生士学校		
1 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
1. 特定資産運用益	-	8,401	-	4,853	-	-	13,254
2. 入会金収入	-	-	-	1,250,000	-	-	1,250,000
3. 会費収入	-	-	-	50,183,000	-	-	50,183,000
4. 事業収入	56,972,100	104,750,000	565,540	1,739,833	-	-	164,027,473
5. 補助金等収入	424,720	5,700,090	-	4,763,990	-	▲1,500,000	9,388,800
6. 雑収入	-	877,306	-	181,116	-	-	1,058,422
7. 負担金収入	-	-	-	350,000	-	-	350,000
経常収益計	57,396,820	111,335,797	565,540	58,472,792	0	▲1,500,000	226,270,949
(2)経常費用							
1. 事業費	69,480,326	73,125,324	571,240	-	-	-	143,176,890
2. 管理費	-	-	-	34,867,347	17,744,768	▲1,500,000	51,112,115
経常費用計	69,480,326	73,125,324	571,240	34,867,347	17,744,768	▲1,500,000	194,289,005
当期経常増減額	▲12,083,506	38,210,473	▲5,700	23,605,445	▲17,744,768	0	31,981,944
2. 経常外増減の部							
(1)経常外費用							
1. 固定資産除却損	-	-	-	8	-	-	8
経常外費用計	0	0	0	8	0	0	8
当期経常外増減額	0	0	0	▲8	0	0	▲8
当期一般正味財産増減額	▲12,083,506	38,210,473	▲5,700	23,605,437	▲17,744,768	0	31,981,936
一般正味財産期首残高	▲71,928,389	237,796,623	33,000	362,865,855	▲11,791,137	0	516,975,952
一般正味財産期末残高	▲84,011,895	276,007,096	27,300	386,471,292	▲29,535,905	0	548,957,888
2 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	-	-	-	▲704,290	-	-	▲704,290
当期指定正味財産増減額	0	0	0	▲704,290	0	0	▲704,290
指定正味財産期首残高	0	0	0	12,499,970	0	0	12,499,970
指定正味財産期末残高	0	0	0	11,795,680	0	0	11,795,680
3 正味財産期末残高	▲84,011,895	276,007,096	27,300	398,266,972	▲29,535,905	0	560,753,568

平成 30 年度 公益目的支出計画 実施事業の状況

31. 3. 31 現在

(円)

	公益事業 1	継 続 1	継 続 2	公益事業合計
経常収益	11,301,688	45,585,432	510,000	57,396,820
経常費用	11,835,812	46,265,305	11,379,209	69,480,326
当期経常増減額	▲534,124	▲680,173	▲10,869,209	▲12,083,506

「公益事業 1」と「継続 1」と「継続 2」の 3 事業において、▲12,083,506 円になった。

公益目的財産額・・・・・・・・ 269,372,286 円（平成 30 年 3 月 31 日）

当期経常増減額・・・・・・・・ ▲12,083,506 円

公益目的財産額・・・・・・・・ 257,288,780 円（平成 31 年 3 月 31 日）

- ・経常増減額が平成 30 年度ベースで推移すると、公益目的支出計画の実施期間はあと 21.3 年になる見込み。

前年度資料

30. 3. 31 現在

(円)

	公益事業 1	継 続 1	継 続 2	公益事業合計
経常収益	11,221,493	43,691,812	510,000	55,423,305
経常費用	11,809,629	44,356,715	12,041,082	68,207,426
当期経常増減額	▲588,136	▲664,903	▲11,531,082	▲12,784,121

「公益事業 1」と「継続 1」と「継続 2」の 3 事業において、▲12,784,121 円になった。

公益目的財産額・・・・・・・・ 282,156,407 円（平成 29 年 3 月 31 日）

当期経常増減額・・・・・・・・ ▲12,784,121 円

公益目的財産額・・・・・・・・ 269,372,286 円（平成 30 年 3 月 31 日）

- ・経常増減額が平成 29 年度ベースで推移すると、公益目的支出計画の実施期間はあと 21.1 年になる見込み。

令和元年6月27日

## 監査報告

一般社団法人 浜松市歯科医師会

監事 松下



監事 鳥居 一



平成30年度一般社団法人浜松市歯科医師会の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務執行について、令和元年5月14日に監査を実施した結果、次のとおり報告します。

### 1 監査の方法及びその内容

理事会、その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を読覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。
- (5) 公益目的支出計画実施報告書は法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しています。

以上

平成 29 年度 貸借対照表総括表、附属明細書、正味財産増減計算書総括表、 公  
益目的支出計画事業実施の状況、監査報告

平成29年度 貸借対照表 総括表

平成30年3月31日現在

科 目	本会会計	歯科衛生士 専 門 学 校	合 計
<b>1 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現 金 預 金	122,827,649	39,540,057	162,367,706
未 収 金	9,544,855	2,508,034	12,052,889
前 払 金	103,260	-	103,260
立 替 金	1,131,635	-	1,131,635
貯 蔵 品	98,217	795,397	893,614
流動資産合計	133,705,616	42,843,488	176,549,104
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 特定資産</b>			
役員退職慰労引当預金	3,195,000	-	3,195,000
職員退職引当預金	20,035,840	25,623,512	45,659,352
建物建設積立引当預金	45,087,500	-	45,087,500
100周年記念事業積立引当預金	1,000,000	-	1,000,000
建物	17,430,000	-	17,430,000
減価償却累計額	▲ 4,930,030	-	▲ 4,930,030
建物償却引当預金	-	117,671,158	117,671,158
機器償却引当預金	-	23,740,581	23,740,581
教育体制準備基金預金	-	304,103	304,103
学校行事準備金預金	-	3,027,998	3,027,998
特定資産合計	81,818,310	170,367,352	252,185,662
<b>(2) その他固定資産</b>			
建物	282,523,764	13,830,737	296,354,501
備品	9,190,763	134,179,626	143,370,389
図書	-	5,637,613	5,637,613
電話加入権	247,934	167,008	414,942
投資有価証券	10,000,000	-	10,000,000
出資金	-	1,164,000	1,164,000
減価償却累計額	▲ 180,671,155	▲ 106,782,448	▲ 287,453,603
その他固定資産合計	121,291,306	48,196,536	169,487,842
固定資産合計	203,109,616	218,563,888	421,673,504
資産合計	336,815,232	261,407,376	598,222,608
<b>2 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
前受金	-	8,100,000	8,100,000
未払金	8,451,143	-	8,451,143
預り金	767,113	151,200	918,313
賞与引当金	895,700	1,525,450	2,421,150
流動負債合計	10,113,956	9,776,650	19,890,606
<b>2. 固定負債</b>			
役員退職慰労引当金	3,195,000	-	3,195,000
職員退職給付引当金	20,035,840	25,625,240	45,661,080
固定負債合計	23,230,840	25,625,240	48,856,080
負債合計	33,344,796	35,401,890	68,746,686
<b>3 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産（地方公共団体補助金）	12,499,970	0	12,499,970
2. 一般正味財産	290,970,466	226,005,486	516,975,952
正味財産合計	303,470,436	226,005,486	529,475,922
負債及び正味財産合計	336,815,232	261,407,376	598,222,608

## 附属明細書

### 1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額		期末帳簿価額
				目的使用	その他	
特定資産	役員退職慰勞引当預金	7,455,000	4,260,000	8,520,000	-	3,195,000
	職員退職引当預金	43,793,824	8,357,966	6,492,438	-	45,659,352
	建物建設積立引当預金	35,665,000	9,422,500	-	-	45,087,500
	100周年記念事業積立引当預金	500,000	500,000	-	-	1,000,000
	建 物	17,430,000	-	-	-	17,430,000
	減価償却累計額	▲ 4,225,740	▲ 704,290	-	-	▲ 4,930,030
	建物償却引当預金	80,258,318	40,005,380	2,592,540	-	117,671,158
	機器償却引当預金	12,977,048	10,763,533	-	-	23,740,581
	教育体制準備基金預金	1,922,702	1,510,298	3,128,897	-	304,103
	学校行事準備金預金	3,027,741	257	-	-	3,027,998
特定資産合計	198,803,893	74,115,644	20,733,875	-	252,185,662	
その他固定資産	建 物	293,762,501	2,592,000	-	-	296,354,501
	備 品	142,547,429	822,960	-	-	143,370,389
	図 書	5,637,613	-	-	-	5,637,613
	電話加入権	414,942	-	-	-	414,942
	投資有価証券	-	10,000,000	-	-	10,000,000
	出 資 金	1,140,000	24,000	-	-	1,164,000
	減価償却累計額	▲ 267,425,389	▲ 20,028,214	-	-	▲ 287,453,603
	その他固定資産合計	176,077,096	▲ 6,589,254	0	-	169,487,842

### 2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,696,000	2,421,150	2,696,000	-	2,421,150
役員退職慰勞引当金	7,455,000	4,260,000	8,520,000	-	3,195,000
職員退職給付引当金	47,125,780	5,027,738	6,492,438	-	45,661,080

## 平成29年度 正味財産増減計算書 総括表

平成29年4月1日～平成30年3月31日

科 目	実施事業等会計	その他会計		法人会計		内部取引控除	合 計
	公益事業1 継続事業1・2	1衛生士学校	2事業所健診	本 会 会 計	衛生士学校		
1 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
1. 特定資産運用益	-	8,498	-	5,057	-	-	13,555
2. 入会金収入	-	-	-	3,000,000	-	-	3,000,000
3. 会費収入	-	-	-	49,782,500	-	-	49,782,500
4. 事業収入	54,998,585	105,107,500	625,600	1,019,556	-	-	161,751,241
5. 補助金等収入	424,720	5,778,090	-	4,686,770	-	▲1,500,000	9,389,580
6. 雑収入	-	675,715	-	457,822	-	-	1,133,537
7. 負担金収入	-	-	-	1,750,000	-	-	1,750,000
経常収益計	55,423,305	111,569,803	625,600	60,701,705	0	▲1,500,000	226,820,413
(2) 経常費用							
1. 事業費	68,207,426	70,531,016	619,640	-	-	-	139,358,082
2. 管理費	-	-	-	35,326,230	18,204,717	▲1,500,000	52,030,947
経常費用計	68,207,426	70,531,016	619,640	35,326,230	18,204,717	▲1,500,000	191,389,029
当期経常増減額	▲12,784,121	41,038,787	5,960	25,375,475	▲18,204,717	0	35,431,384
当期一般正味財産増減額	▲12,784,121	41,038,787	5,960	25,375,475	▲18,204,717	0	35,431,384
一般正味財産期首残高	▲59,144,268	196,757,836	27,040	337,490,380	6,413,580	0	481,544,568
一般正味財産期末残高	▲71,928,389	237,796,623	33,000	362,865,855	▲11,791,137	0	516,975,952
2 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	-	-	-	▲704,290	-	-	▲704,290
当期指定正味財産増減額	0	0	0	▲704,290	0	0	▲704,290
指定正味財産期首残高	0	0	0	13,204,260	0	0	13,204,260
指定正味財産期末残高	0	0	0	12,499,970	0	0	12,499,970
3 正味財産期末残高	▲71,928,389	237,796,623	33,000	375,365,825	▲11,791,137	0	529,475,922

平成 29 年度 公益目的支出計画 実施事業の状況

30. 3. 31 現在

(円)

	公益事業 1	継 続 1	継 続 2	公益事業合計
経常収益	11, 221, 493	43, 691, 812	510, 000	55, 423, 305
経常費用	11, 809, 629	44, 356, 715	12, 041, 082	68, 207, 426
当期経常増減額	▲588, 136	▲664, 903	▲11, 531, 082	▲12, 784, 121

「公益事業 1」と「継続 1」と「継続 2」の 3 事業において、▲12, 784, 121 円になった。

公益目的財産額 . . . . . 282, 156, 407 円 (平成 29 年 3 月 31 日)

当期経常増減額 . . . . . ▲12, 784, 121 円

公益目的財産額 . . . . . 269, 372, 286 円 (平成 30 年 3 月 31 日)

- ・経常増減額が平成 29 年度ベースで推移すると、公益目的支出計画の実施期間はあと 21.1 年になる見込み。

前年参考資料

29. 3. 31 現在

(円)

	公益事業 1	継 続 1	継 続 2	公益事業合計
経常収益	11, 967, 284	37, 923, 553	510, 000	50, 400, 837
経常費用	12, 451, 369	38, 737, 628	11, 544, 073	62, 733, 070
当期経常増減額	▲484, 085	▲814, 075	▲11, 034, 073	▲12, 332, 233

「公益事業 1」と「継続 1」と「継続 2」の 3 事業において、▲12, 332, 233 円になった。

公益目的財産額 . . . . . 294, 488, 640 円 (平成 28 年 3 月 31 日)

当期経常増減額 . . . . . ▲12, 332, 233 円

公益目的財産額 . . . . . 282, 156, 407 円 (平成 29 年 3 月 31 日)

- ・経常増減額が平成 28 年度ベースで推移すると、公益目的支出計画の実施期間はあと 22.9 年になる見込み。

平成30年6月23日

## 監査報告

一般社団法人 浜松市歯科医師会   
監事 松下 茂   
監事 鳥居 一也 

平成29年度一般社団法人浜松市歯科医師会の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務執行について、平成30年5月10日に監査を実施した結果、次のとおり報告します。

### 1 監査の方法及びその内容

理事会、その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を読覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。
- (5) 公益目的支出計画実施報告書は法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しています。

以上

平成 28 年度 貸借対照表総括表、附属明細書、正味財産増減計算書総括表、 公  
益目的支出計画事業実施の状況、監査報告

平成28年度 貸借対照表 総括表

平成 29 年 3 月 31 日現在

科 目	本 会 会 計	歯 科 衛 生 士 専 門 学 校	合 計
<b>1 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現 金 預 金	122,184,606	58,771,952	180,956,558
未 収 金	9,032,570	2,510,448	11,543,018
前 払 金	91,800	-	91,800
立 替 金	1,148,205	-	1,148,205
貯 蔵 品	174,577	-	174,577
流動資産合計	132,631,758	61,282,400	193,914,158
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 特定資産</b>			
役員退職慰労引当預金	7,455,000	-	7,455,000
職員退職引当預金	18,379,460	25,414,364	43,793,824
建物建設積立引当預金	35,665,000	-	35,665,000
100周年記念事業積立引当預金	500,000	-	500,000
建 物	17,430,000	-	17,430,000
減 価 償 却 累 計 額	▲ 4,225,740	-	▲ 4,225,740
建物償却引当預金	-	80,258,318	80,258,318
機器償却引当預金	-	12,977,048	12,977,048
教育体制準備基金預金	-	1,922,702	1,922,702
学校行事準備金預金	-	3,027,741	3,027,741
特定資産合計	75,203,720	123,600,173	198,803,893
<b>(2) その他固定資産</b>			
建 物	282,523,764	11,238,737	293,762,501
備 品	9,190,763	133,356,666	142,547,429
図 書	-	5,637,613	5,637,613
電 話 加 入 権	247,934	167,008	414,942
出 資 金	-	1,140,000	1,140,000
減 価 償 却 累 計 額	▲ 172,823,387	▲ 94,602,002	▲ 267,425,389
そ の 他 固 定 資 産 合 計	119,139,074	56,938,022	176,077,096
固定資産合計	194,342,794	180,538,195	374,880,989
資産合計	326,974,552	241,820,595	568,795,147
<b>2 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
前 受 金	584,000	8,000,000	8,584,000
未 払 金	7,747,680	-	7,747,680
預 り 金	-	87,859	87,859
仮 受 金	350,000	-	350,000
賞 与 引 当 金	881,000	1,815,000	2,696,000
流動負債合計	9,562,680	9,902,859	19,465,539
<b>2. 固定負債</b>			
役員退職慰労引当金	7,455,000	-	7,455,000
職員退職給付引当金	18,379,460	28,746,320	47,125,780
固定負債合計	25,834,460	28,746,320	54,580,780
負債合計	35,397,140	38,649,179	74,046,319
<b>3 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産（地方公共団体補助金）</b>	13,204,260	0	13,204,260
<b>2. 一般正味財産</b>	278,373,152	203,171,416	481,544,568
正味財産合計	291,577,412	203,171,416	494,748,828
負債及び正味財産合計	326,974,552	241,820,595	568,795,147

## 附属明細書

### 1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	役員退職慰労引当預金	3,195,000	4,260,000	-	7,455,000
	職員退職引当預金	48,901,120	2,324,832	7,432,128	43,793,824
	建物建設積立引当預金	26,172,500	9,492,500	-	35,665,000
	100周年記念事業積立引当預金	-	500,000	-	500,000
	建物	17,430,000	-	-	17,430,000
	減価償却累計額	▲ 3,521,450	▲ 704,290	-	▲ 4,225,740
	建物償却引当預金	80,245,435	12,883	-	80,258,318
	機器償却引当預金	12,026,916	950,132	-	12,977,048
	教育体制準備基金預金	3,708,431	286	1,786,015	1,922,702
	学校行事準備金預金	3,027,120	621	-	3,027,741
	特定資産合計	191,185,072	16,836,964	9,218,143	198,803,893
その他固定資産	建物	293,451,461	311,040	-	293,762,501
	備品	141,142,709	1,845,720	441,000	142,547,429
	図書	5,637,613	-	-	5,637,613
	電話加入権	414,942	-	-	414,942
	出資金	1,116,000	24,000	-	1,140,000
	減価償却累計額	▲ 248,176,376	▲ 19,690,010	▲ 440,997	▲ 267,425,389
		その他固定資産合計	193,586,349	▲ 17,509,250	3

### 2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,447,800	2,696,000	2,447,800	-	2,696,000
役員退職慰労引当金	3,195,000	4,260,000	-	-	7,455,000
職員退職給付引当金	48,901,120	5,656,788	7,432,128	-	47,125,780

## 平成28年度 正味財産増減計算書 総括表

平成28年4月1日～平成29年3月31日

科 目	実施事業等会計 公益事業1 継続事業1・2	その他会計		法人会計		内部取引控除	合 計
		1衛生士学校	2事業所健診	本 会 会 計	衛生士学校		
1 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1)経常収益							
1. 特定資産運用益	-	18,724	-	5,237	-	-	23,961
2. 入会金収入	-	-	-	3,750,000	-	-	3,750,000
3. 会費収入	-	-	-	49,987,500	-	-	49,987,500
4. 事業収入	49,976,117	102,865,000	243,000	950,309	-	-	154,034,426
5. 補助金等収入	424,720	5,949,000	-	4,634,690	-	▲1,500,000	9,508,410
6. 雑収入	-	740,043	-	219,557	-	-	959,600
7. 負担金収入	-	-	-	1,750,000	-	-	1,750,000
経常収益計	50,400,837	109,572,767	243,000	61,297,293	0	▲1,500,000	220,013,897
(2)経常費用							
1. 事業費	62,733,070	66,811,782	242,860	-	-	-	129,787,712
2. 管理費	-	-	-	33,625,470	17,684,871	▲1,500,000	49,810,341
経常費用計	62,733,070	66,811,782	242,860	33,625,470	17,684,871	▲1,500,000	179,598,053
当期経常増減額	▲12,332,233	42,760,985	140	27,671,823	▲17,684,871	0	40,415,844
2. 経常外増減の部							
(1)経常外費用							
1. 固定資産除却損	-	-	-	-	3	-	3
経常外費用計	0	0	0	0	3	0	3
当期経常外増減額	0	0	0	0	▲3	0	▲3
当期一般正味財産増減額	▲12,332,233	42,760,985	140	27,671,823	▲17,684,874	0	40,415,841
一般正味財産期首残高	▲46,812,035	153,996,851	26,900	309,818,557	24,098,454	0	441,128,727
一般正味財産期末残高	▲59,144,268	196,757,836	27,040	337,490,380	6,413,580	0	481,544,568
2 指定正味財産増減の部							
一般正味財産への振替額	-	-	-	▲704,290	-	-	▲704,290
当期指定正味財産増減額	0	0	0	▲704,290	0	0	▲704,290
指定正味財産期首残高	0	0	0	13,908,550	0	0	13,908,550
指定正味財産期末残高	0	0	0	13,204,260	0	0	13,204,260
3 正味財産期末残高	▲59,144,268	196,757,836	27,040	350,694,640	6,413,580	0	494,748,828

平成 28 年度 実施事業の状況 (仮)

29.3.31 現在

(円)

	公益事業 1	継 続 1	継 続 2	公益事業合計
経常収益	11,967,284	37,923,553	510,000	50,400,837
経常費用	12,451,369	38,737,628	11,544,073	62,733,070
当期経常増減額	▲484,085	▲814,075	▲11,034,073	▲12,332,233

「公益事業 1」と「継続 1」と「継続 2」の 3 事業において、▲12,332,233 円になった。

公益目的財産額・・・・・・・・ 294,488,640 円 (平成 28 年 4 月 1 日)

当期経常増減額・・・・・・・・ ▲12,332,233 円

公益目的財産額・・・・・・・・ 282,156,407 円 (平成 29 年 3 月 31 日)

- ・ 経常増減額が平成 28 年度ベースで推移すると、公益目的支出計画の実施期間はあと 22.9 年が必要となる。

平成29年6月22日

一般社団法人 浜松市歯科医師会  
会 長 大 野 守 弘 様

## 監 査 報 告

一般社団法人 浜松市歯科医師会  
監 事 横 山 盛 次   
監 事 松 下 茂 

平成28年度一般社団法人浜松市歯科医師会の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務執行について、平成29年5月11日に監査を実施した結果、次のとおり報告します。

### 1 監査の方法及びその内容

理事会、その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を読覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。
- (5) 公益目的支出計画実施報告書は法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しています。

以上

## 事業報告書

### 平成30年度 事業報告

### 浜松歯科衛生士専門学校

歯科衛生士として必要な知識と技能を修得させ、有能な歯科衛生士を養成することを念頭に置き、地域の歯科医療と住民の健康づくりに貢献できる人材育成に努めました。

- I. 本校内の学生指導・教育体制の見直しを行い、順次改善し、学生教育の充実をはかりました。
- II. これからの社会ニーズである虚弱高齢者、要介護者への対応を可能とするため、摂食嚥下、専門的口腔ケア、オーラルフレイルに対応できるよう機材・機器を導入し、専門知識を持った講師による講義・実習指導の充実を図りました。
- III. 学生が目標を達成できるよう、国家試験の全員の合格をはじめ、本校の良き伝統が継承できるよう努めました。

#### 詳細

##### 1. 教職員の資質向上

専任教員、非常勤教員、講師、臨床実習指導担当者が連携し、教育内容の精選、指導法の改善に努めました。

###### (1)職場内外研修の実施・参加

- ①学生の授業・生活全般にかかる指導方法習得のための研修
- ②専任教員研修会、専任教員学術研修会

###### (2)講師会・臨床実習指導担当者会

##### 2. 明るく楽しい学校作り

学生生活に潤いを持たせるための行事等を工夫し、学生コミュニティーの場を充実させました。

##### 3. 学生教育に必要な、施設・設備の環境整備

補助金によりオーラルフレイル予防のための検査機器一式を購入し、講義・実習など活用しました。

##### 4. 学生募集の充実

他校・他医療系職種との違いを明確にし、本校と歯科衛生士の特色について広報活動の充実を計りました。

##### 5. 本会学校部復職支援事業への協力

学校の様子などの情報提供、卒業生への求人情報案内等、本会学校部復職支援事業に協力しました。

##### 6. 歯科衛生士会・同窓会の活動に協力

##### 7. 外部組織との交流を図る

豊橋歯科衛生士専門学校との交流会、静岡県歯科衛生士学校協議会など、他校との交流を行いました。

## 学生数、教職員・講師等、会議、授業、学生募集、入学試験

### 1. 学生数

第1学年 45名入学(4名退学)、第2学年 44名、第3学年 44名(1名退学)

計 133名→128名(3月末)

### 2. 教職員・講師等

(1) 専任教員 7名 (校長、副校長を除く)

(2) 非常勤教員 2名

(3) 非常勤講師 78名

(4) 臨床実習指導教員 137名

(5) 事務職員 2名 (パート事務職員 1名)

(6) 校医 2名

計 228名

### 3. 会議

(1) 運営委員会 4月、5月、7月、10月、1月、2月、3月

(2) 教務委員会 毎月1回

(3) 講師会 9月27日(木)

(4) 臨床実習指導担当者会(院長・指導担当歯科衛生士) 10月26日(金)

(5) 学校四役会(校長、副校長、事務長、教務主任) 月1～2回

(6) 教職員会 毎月1回

(7) 専任打合せ会(専任教員7名、非常勤教員2名) 月1～2回

### 4. 授業

第1学年 授業時間 939時間 (46単位) 行事他 137時間 計 1,076時間

第2学年 授業時間 1,010時間 (39単位) 行事他 196時間 計 1,206時間

第3学年 授業時間 837時間 (30単位) 行事他 707時間 計 1,544時間

#### (1) 臨床・臨地実習

① 臨床実習 (60診療所) 1年 7日5月中旬、2月下旬～3月上旬

2年 45日 11月～2月

3年 66日 4月～10月

② はままつ歯と口の健康フェスタ 6月10日(日)

③ 健康教育実習 小学校 6校(3日間) 2年 5月下旬

幼稚園 7園(3日間) 2年 6月下旬

④ 浜松医療センター歯科口腔外科実習 3年 5月～9月

⑤ " 摂食嚥下機能訓練実習 3年 4月～9月

⑥ 浜松市健康増進課実習 3年 4月～9月

⑦ 矯正歯科実習(3診療所) 2年 11月～2月

⑧ 障がい者施設実習 2年 1月～2月

⑨ 介護老人保健施設実習 3年 5月～10月

#### (2) 行事等

① 入学式 4月5日(木)

② 防災訓練 4月6日(金)、8月31日(金)

- ③ 健康診断 4月
- ④ 春の遠足(浜松城公園) 5月2日(水)
- ⑤ 運動会(浜松アリーナ) 7月5日(木)
- ⑥ バードウォッチングとウミガメ放流(中田島公園) 8月28日(火)
- ⑦ 研修旅行(1年・2年)(安城デンパーク) 9月28日(金)
- ⑧ 戴帽式 10月4日(木)
- ⑨ 修学旅行(3年)[1泊2日](大阪・よしもと・USJ) 10月24日(水)、25日(木)
- ⑩ クリスマスお楽しみ会 12月
- ⑪ 卒業式(卒業パーティー) 3月7日(木)
- ⑫ 春休み前お楽しみ会 3月

(3)実習・発表会・国家試験対策等

- ① 浜松医科大学解剖実習見学 5月15日(火)
- ② 夏の国家試験基礎対策講座 7月27日(金)
- ③ 患者実習 10月7日(日)
- ④ 課題研究発表会 10月21日(日)
- ⑤ 超直前国家試験対策講座 1月29日(火)

(4)試験

- ① 春セメスター試験 7月、9月下旬
- ② 卒業試験 1月8日(火)
- ③ 秋セメスター試験 2月下旬
- ④ 歯科衛生士国家試験 3月3日(日)

(5)その他

- ① 卒業生復職支援 随時
- ② 浜松市歯科医師会学校部チューターによる面談 毎月随時
- ③ 浜松市歯科医師会学校部員による国家試験対策 随時
- ④ 豊橋歯科衛生士専門学校交流会 8月2日(木)
- ⑤ 同窓会卒後研修セミナー 9月30日(日)
- ⑥ 静岡県歯科衛生士学校協議会 10月4日(木)
- ⑦ 静岡県歯科医師会と静岡県歯科衛生士学校協議会との懇談会 31年1月31日(木)

5. 学生募集

- (1) 市内及び西部地区高等学校の訪問 4月～翌年3月
- (2) 高校・アクト等会場進学ガイダンスへの参加 4月～翌年3月
- (3) 募集活動 高等学校 約60校  
学校案内及び募集要項、ポスター配布 ホームページの活用等
- (4) オープンキャンパス 6月17日、7月15日、8月26日、10月14日の4回
- (5) 学校見学・入学相談 随時

6. 入学試験

- |              |       |        |      |           |
|--------------|-------|--------|------|-----------|
| (1) AO入試     | エントリー | 30年6月～ | 入学試験 | 9月16日(日)  |
| (2) 推薦入試     | 願書受付  | 30年10月 | 〃    | 11月11日(日) |
| (3) 一般入試前期試験 | 〃     | 30年10月 | 〃    | 11月11日(日) |
| (4) 一般入試後期試験 | 〃     | 31年1月  | 〃    | 1月27日(日)  |
| (5) 一般入試2次試験 | 実施せず  |        |      |           |
| (6) 一般入試3次試験 | 実施せず  |        |      |           |

監事による監査報告（書）

平成30年度 浜松歯科衛生士専門学校財産及び会計運営状況監査報告

1. 平成 30 年度 浜松歯科衛生士専門学校 事業報告
1. 平成 30 年度 浜松歯科衛生士専門学校 貸借対照表、正味財産増減計算書、  
財産目録、運営費収支決算書、並びに特別会計  
上記のとおり報告します。

令和元年 5 月 15 日

浜松歯科衛生士専門学校  
校 長 才 川 隆 弘

平成 30 年度 浜松歯科衛生士専門学校財産及び会計運営状況 監査報告

平成 30 年度 浜松歯科衛生士専門学校の財産及び会計運営状況について  
令和元年 5 月 14 日に監査した結果、会計処理の手続きは適正であり、事業執行  
についても適正妥当に実施されていることを認めます。

令和元年 5 月 15 日

監 事 松 下 茂  
監 事 鳥 居 一 也



## 2. 教育活動に係る情報

### ① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	歯科衛生士科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	臨床実習
3年	昼	2,786 時間／115 単位 単位時間／単位	1186 時間	60 時間	640 時間	時間	900 時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
132 人		130 人	0 人	7 人	78 人 (非常勤 2 名含む)	85 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)	
授業計画(シラバス)の作成過程	
8～9 月	①次年度の年間予定に学校行事、休日の組み入れ。 ②事前に講師確認の、講義可能日と時間帯を考慮し、日程の組み入れ。 ※内容的な前後関係も考慮。同一講師が他の学年と重複しないよう配慮。
10～11 月	主要 3 科の授業・実習を組み入れ。 ※継続的な実習や学年間で教室が重ならない配慮。次の実習までの日数も考慮し計画。
12 月	①パソコンの時間割・シラバス作成ソフトに入力。 ②『講義・実習のねらい』『使用教本』『参考図書』『評価方法・基準』『履修上の注意』『使用機材』は前年度記載事項はこの時点では修正せず。
	①全講師に郵送し、次年度シラバスの内容、日程を確認。 ②回答に従い修正。日程調整が必要な場合は変更。 (必要により別の講師に日程の移動を依頼)
1 月	シラバス入力後、出力し、時間割表と照合(再確認)
2 月	印刷業者に発注。(次年度の専任教員担当を発表後、主要 3 科の担当者を決定。業務分掌と業務量考慮)
3 月	シラバス完成→講師に郵送。
4 月	学生配布。
授業計画の作成・公表時期	
毎年 4 月にその年度用のシラバスを作成し、全学生に配布。	
①シラバスには、年間行事計画、1 年生から 3 年生までの講義・実習計画表(科目ごとに時間数、単位、講師名と所属が記載)、学科試験受験の流れ、卒業試験から国家試験までの流れ、指導案用紙について(学内掲示用)、レポートの提出について記載。	
②1 年生から 3 年生までの科目の内容および講義・実習計画。	
・内容:科目ごとに、講義・実習のねらい、使用教本、参考図書、評価方法・基準、履修上の注意、使用教材が記載。	
・講義・実習計画:講義・実習計画には、講義の日付、時限、内容、担当者の方が記載。	
※実務経験のある教員による授業科目は、2019 年度のシラバスに別紙 A3 サイズの用紙にて一覧表を作成し公表。	
※2020 年度のシラバスより冊子に記載欄を設置し掲載。	
※詳細はシラバス冊子をご参照ください。	

## 成績評価の基準・方法

成績評価は学生便覧(17～20 ページ)の、「学年・単位制、SHR、授業、掲示連絡、学習等」、「出席管理、出欠席、皆勤、遅刻、忌引き、病気による出席停止」、「試験」、「進級・卒業に関する内規」に記載し周知・公表。

各科目の総合評価になる成績評価点のその学年の合計点数により順位付け。

※学生便覧は年度ごとに新規作成、毎年全学生に配布し周知。

## 進級・卒業に関する内規

### 学業成績(評定)

1. 学業成績(評定)は、科目修了試験の結果に、臨時試験の結果、出席状況、授業態度等を加味して担当講師が決定する。
2. 基礎実習、臨床臨地実習は、試験、レポート、提出物、演習・実習態度、出席状況など多面的に評価して評定する。
3. 学業成績(評定)は満点を100点とし以下の通りとする。

点数区分	評定
90～100点	特A
80～89点	A
70～79点	B
60～69点	C
59点以下	D

※各科目の評定は、学業成績として記録・保管される。

### 進級・留年判定 単位認定

学業成績(評定)による単位認定と単位未認定の区分は以下の通りとする。

認定区分	学業成績(評定)
単位認定とする学業成績(評定)	特A、A、B、C
単位未認定とする学業成績(評定)	D

1. 単位未認定の科目を1科目でも有する場合は留年の対象者となる。
2. 進級・留年の決定は、教務委員会に諮り校長が決定する。

### 留年

留年の場合は、翌年度も同じ学年の初め4月より再履修し、不合格となった科目は確実に履修することはもちろん、その他の科目についても全て履修するものとする。

※再び履修した科目は、上位の成績を優先し学業成績の書き換えを行う。

※知識・技能のスキルアップと規則的な生活習慣の遂行等自己研鑽を継続するものとする。

## 卒業・進級の認定基準

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定は下記のように学生便覧(20 ページ)の「進級・卒業に関する内規」に記載し周知・公表。

### 卒業試験

- 受験資格 : ①学科試験が全て合格していること。  
②所定の臨床臨地実習を終えていること。  
③授業料等学納金を全納していること。

卒業試験は、歯科衛生士国家試験に準じて行い、6割以上の得点を以って合格とする。

※卒業試験に合格しない者は、歯科衛生士国家試験に受験できない。

### 卒業認定

卒業の認定は、学業成績・出席状況について評定のうえ教務委員会の議を経て校長が行う。  
(学則第17条より)

## 学修支援等

### 入学前課題

入学前、入学後の講義理解のために必要な数学、化学、生物の基礎的な課題を3回行い、学校に提出。

### 入学課題確認テスト

入学後に、入学前課題の内容についての確認テストを行い基礎学力の確認を行い、合格点を満たせなかった学生は補習を行い再テストを実施。

### 放課後勉強会・実習練習

基本、1年生から3年生まで、日々、学生が自主的に行うもので、申し出により担任・副担任等も指導に入る。

### 国家試験対策

2年生、3年生時に計画的に行われる国家試験対策。グループ学習を中心に、参考書の読み込み、国家試験の過去問題の解き直し、本校独自の領域別の小テストとその解き直し、模擬試験の解き直し、業者を招聘しての対策講座、学習成績の低い学生への補習など実施。学生に応じた学習の対策を実施。

### 担任・副担任制

平成31年4月より担任・副担任制度を採用し、1クラスを2名の教員で担当。より学生に寄り添った教育とサポートを行うように改善。

### チューター制度

担任・副担任のほか、浜松市歯科医師会会員の学校部に所属する歯科医師によるチューター制度を実施。学習方法、学生生活など、1ヶ月に1回程度のチューター面談を行い、学生をサポートするとともに、学生本人の意思を尊重し、場合により担任・副担任や各担当と連携し、学校全体として学生を支援。

### カウンセラー制度

2週間に1日のペースでカウンセリングを実施。家庭や友人関係など様々な相談内容や、心身の問題などに対応する。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43人 (100%)	0人 (0%)	43人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 歯科診療所 41 名、公立総合病院歯科口腔外科 1 名、私立病院歯科口腔外科1名			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、個別相談・キャリアコンサルティング、履歴書指導、模擬面接など対応  国家資格キャリアコンサルタント・2 級キャリアコンサルタント技能士資格者 1名常駐			
(主な学修成果(資格・検定等)) 歯科衛生士国家資格43名全員合格 この他、ケアコミュニケーション検定資格、介護職員初任者研修資格取得			
(備考)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
133人	5人	3.8%
(中途退学の主な理由)		
進路変更		
(中途防止・中退者支援のための取組)		
<u>相談・支援体制</u>		
1. 担任・副担任による面談を定期的実施。		
2. 学校部員歯科医師によるチューター面談を定期的実施。		
3. 問題を抱える学生で希望者にカウンセラーによるカウンセリングを実施。		
4. 問題を抱える学生については、学生のみ面談に加え、保護者も面談。夜でも対応。		
<u>授業や行事、セレモニーによりモチベーションの維持・アップ</u>		
4月 入学後最初の授業「話法接遇」で、友達づくり コミュニケーショントレーニング		
5月 ゴールデンウィーク前に、プチ遠足。浜松城公園に遠足、ランチと3年生によるゲーム		
6月 1年生から参加する、浜松市歯科医師会主催の歯と口の健康フェスタ、先輩をモデリング		
7月 浜松アリーナで行う夏の運動会		
7月 バードウォッチングとウミガメの放流会		
9月 1・2年生の日帰り研修旅行(愛知常滑焼とセントリア、ソーセージづくりとデンパーク)		
10月 2年生のセレモニーの戴帽式		
10月 臨床実習前のご家族をお呼びしての患者実習(実習)		
10月 3年生の一泊二日の大阪修学旅行(たこ焼き、なんばクラッド花月、ユニバーサルスタジオ)		
12月 クリスマスお楽しみ会(ゲームなどクラスごとに企画、お菓子とジュースなど)		
3月 春休み前お楽しみ会(ゲームなどクラスごとに企画、お菓子とジュースなど)		
<u>学年間の実習を行い、モデリングの機会によりモチベーションの維持・アップ</u>		
1. 健康教育実習		
2年生の健康教育実習のプレゼンテーションを1年生相手に行い感想・意見を収集。		
2. 患者実習		
臨床実習前に実施する、学内実習の総仕上げとなる、ご家族をお呼びして行う「患者実習」の前段階の実習として、2年生が1年生に、口腔内審査、スケーリング、口腔内写真、ブラッシング指導などの実習を実施。		
<u>先輩との懇談の機会によりモチベーションアップ</u>		
1. 3年生から2年生への臨床実習についての懇談会		
臨床実習の心構えや行うことや留意点などについて先輩から後輩にメッセージなど懇談。		
※先輩の経験談などで実際にイメージ		
2. 卒業生から3年生への国家試験対策についての懇談会		
国家試験対策の学習を行うにあたっての心構えや行うことや留意点などについてメッセージなど懇談。		
※学習のみならず、生活面での工夫や大切なことなどをアドバイス		
<u>セレモニーへの参加</u>		
初心を思い出したり、1年後の自分を想像するなどモチベーションの維持とアップ		
1. 新入生の入学式に2年生参加		
2. 2年生の戴帽式に1年生参加		
3. 3年生の卒業式に2年生参加		

## ②学校単位の情報

### a)「生徒納付金」等

学科名	入学金 (入学時のみ)	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
歯科衛生士科	200,000 円	450,000 円	285,000 円	実習費、施設維持費
修学支援(任意記載事項)				
在学学生特待制度 条 件：学業、人物共に優秀で、学校長が特待生として認めた者。 対 象：2年生、3年生(進級時) 特待額：特待生授業料15万円免除、準特待生授業料5万円免除 期 間：1年間(特待額を前・後期授業料2回に分け半額ずつ免除)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法 ホームページに公表 <a href="http://hdhsmirai.com/">http://hdhsmirai.com/</a>
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制含む)
<u>規程:浜松歯科衛生士専門学校施行細則より</u> (学校関係者評価委員会) 第2条 1 学校関係者評価委員会は浜松歯科衛生士専門学校運営規則が定める学校運営委員会の校長・副校長以外の委員をもって構成する。 2 委員長、副委員長は委員会の決議によって委員の中から選定する。 3 学校関係者評価委員会は教育活動及び学校運営の状況及び学校関係者の自己評価の報告を受け、これを協議し評価を行い、その結果を学校運営委員会、教務委員会に報告する。 4 学校関係者評価委員会は委員長が必要に応じ委員を招集し開催する。
<u>学校関係者評価委員会の構成</u> 委員定数：13名以内 (学校運営委員会の定数15名以内〔浜松歯科衛生士専門学校学校運営規則〕より、校長、副校長を除いた人数) 選出区分：企業等委員を以って構成する。
<u>主な評価項目(大項目)(中項目は別紙「学校評価の項目」の資料をご参照ください。)</u> 1 教育理念・目標 2 教育活動 3 学生受け入れ 4 教職員組織 5 施設・設備等 6 学生支援 7 管理・運営
<u>評価結果の活用方法</u> 学校関係者評価委員会で協議されたその評価結果については、学校運営委員会、教務委員会に報告され、各委員会の所掌事項にしたがい、評価点が低いものを優先し、早期に改善できるよう具体的対応方法について協議し、改善・改革を遂行する。

学校関係者評価の委員		
2020年度から評価を確実に実施するために委員の選任を行った。下記の通り。		
所属	任期	種別
現 長野歯科医院 院長	平成31年4月～令和3年3月	企業等委員
現 中村歯科医院 院長	平成31年4月～令和3年3月	企業等委員
現 藤井歯科クリニック 院長	平成31年4月～令和3年3月	企業等委員
現 松下歯科医院 院長	平成31年4月～令和3年3月	企業等委員
現 鳥居歯科医院 院長	平成31年4月～令和3年3月	企業等委員
現 近藤歯科医院 院長	平成31年4月～令和3年3月	企業等委員
現 松永歯科医院 院長	平成31年4月～令和3年3月	企業等委員
現 はじめ歯科医院 院長	平成31年4月～令和3年3月	企業等委員
現 大石歯科 院長	平成31年4月～令和3年3月	企業等委員
現 河辺歯科医院 院長	平成31年4月～令和3年3月	企業等委員
現 木村歯科医院 院長	平成31年4月～令和3年3月	企業等委員

学校関係者評価結果の公表方法
2020年度から評価を確実に実施・公表する。
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法
ホームページに公表 <a href="http://hdhsmirai.com/">http://hdhsmirai.com/</a>
第三者による学校評価(任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
ホームページに公表 <a href="http://hdhsmirai.com/">http://hdhsmirai.com/</a>